

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもデイサービスどんまい		
○保護者評価実施期間	R7年1月21日		~ R7年2月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23人	(回答者数) 17人
○従業者評価実施期間	R7年1月21日		~ R7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様の満足度が高いこと、安心して楽しいと思ってもらえていること。	利用者様が楽しんでご利用いただけるような環境調整や関わり方のスタッフ研修を定期的におこなっている。	利用者様や保護者様からアンケート以外の機会でも意見の聞き取りを行い、反映させること。
2	支援の方法を統一しており、迷いがなく支援ができていると思う。	日々話し合いをする時間を作っていて、問題解決を迅速に行っている	動画などを制作して、いつでもどこでも考え方や支援方法を展開できるようになればいいと思う。
3	幅広い利用者様の対応が可能なこと。	様々な個性特性性格の利用者様に対して、それぞれの意見を尊重して、出来る限りのサポートを行っている。	どんまいで分析できたことを誰でも分かるように資料化できればと考えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部機関との連携の頻度が低い。	集団での活動が難しいこともあるが、主にコロナ以降に機会が激減してしまった。	連携のきっかけを作る為にも、こちらから積極的に問い合わせを行う必要がある。
2	職員の能力に依存している部分もあるため、支援ツールの量をもう少し増やす必要がある。	視覚支援カード等を活用しているが、まだツール化可能な余地があると考ええる。	まずは視覚支援カードの量を増やすこと。必要だと思った場面で職員各々がすぐに書き留め、カード化を徹底する。
3	主に外部講師を招いて行う療育の種類が減少傾向にある。	外部講師の方の引退。事業所が考える基準を満たす外部講師の方が見つかっていない。	自事業所内で行える新しい療育について検討すること。また、対応可能な外部講師の方がいないか積極的に探す。